

里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	経済的手法の導入												
手法名	オフセット・クレジット(J-VER)を活用した森林整備												
主体	三重県大台町												
背景(地域の課題)	地域内だけでは森林の適切な管理運営が困難な場合がある。オフセット・クレジット(J-VER)制度など新たな制度を利用することによって、保全活用を図ることができる。												
手法／方策の詳細	<p>三重県大台町は93%を森林が占めている。高齢化率は35.2%に達しており、町の森林面積の約75%を占める私有林を中心に適切な森林管理が困難になっている(図)。また、平成16年には森林の管理不足も原因の一つとして考えられる洪水が発生している。</p> <p>1) 町有林における実施 町有林1,597haを対象に実施し、基金を作り森林保全に役立てる取り組みを行っている。持続可能な森林経営を促進するため、森林施業によりCO2の吸収量の増大を図っている。</p> <p>2) 大学等との連携 首都圏などの大学と継続的な交流を行っている。情報交換や意見交換を通じて、クレジットの活用方策として、森林組合との連携、Iターン者の定着策への利用、地域おこし活動への活用、文化伝承活動への活用などを検討している。</p> <p>3) 私有林への展開 私有林へのクレジット化の展開に取り組んでおり、平成22年度中に登録認証が見込まれている。私有林に関しては、所有森林の維持管理、山村振興なども目的としてJ-VERの活用を予定している。</p>												
手法・技術的視点	J-VERなど新たな制度を利用しながら、森林の維持管理、整備の促進を図るとともに、山村振興など基幹産業として実施してきた森林整備の効果にも視野を広げた取り組みを展開している。大学等の地域外の主体との情報交換・意見交換などの交流にも継続的な取り組みがみられ、保全活用を新たな展開を導く原動力としている。												
<table border="1"> <caption>三重県大台町における所有形態別森林面積</caption> <thead> <tr> <th>所有形態</th> <th>面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>私有林</td> <td>24,963</td> </tr> <tr> <td>国有林</td> <td>5,819</td> </tr> <tr> <td>県有林</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td>町有林</td> <td>1,597</td> </tr> <tr> <td>森林農地整備センター</td> <td>1,128</td> </tr> </tbody> </table>		所有形態	面積 (ha)	私有林	24,963	国有林	5,819	県有林	308	町有林	1,597	森林農地整備センター	1,128
所有形態	面積 (ha)												
私有林	24,963												
国有林	5,819												
県有林	308												
町有林	1,597												
森林農地整備センター	1,128												
参考資料	里なびin奈良 大台町役場宮川総合支所産業室 谷昌樹												